
編集後記

専修総合科学第24号には、9本の論説と1本の研究ノートが投稿された。内容的には、法学、心理学、歴史学、社会学関係等と多彩である。その中で、専修大学研究科博士後期課程の会員の方が投稿されているのは、当会を准会員に研究発表の場をとという趣旨に添うものである。また、幅広い年代の方から論説等が寄せられていることからすれば、若手の研究者にとっての発表の場としてのみでなく、生涯研究活動を続けられる方々からも、大きな期待が寄せられていると思われる。

第25回大会にあっては、准会員の発表が1件である。大会発表者には専修総合科学への優先投稿権が認められていることから、奮って大会における研究発表をして頂ければと考えている。

代表幹事 専修大学法科大学院教授 宮岡 孝之